

第2回特別展

軍艦設計
の
天才

戦艦大和への道をひらいた東大総長

平賀 讓

Yuzuru Hiraga

- 明治11(1878)年 東京三田豊岡町に生まれる
- 明治31(1898)年 東京帝国大学造船学科に入学
- 明治34(1901)年 海軍造船中技士
- 大正15(1926)年 海軍造船中将
- 昭和13(1938)年 東京帝国大学第13代総長
- 昭和18(1943)年 逝去

2008年 12/17(水) ▶ 2009年 2/2(月)

休館日/毎週火曜日(ただし12月23日は開館、12月24日は休館)
年末年始(12月29日~1月3日)は無休

AM PM
9:00~6:00


大和ミュージアム 1階 大和ホール

入館料
一般(大学生以上)400円(800円)
高校生300円(500円) 小・中学生200円(300円)
*()内料金は常設展示とのセット料金

主催: 呉市海事歴史科学館
協力: 東京大学
東京大学 教養学部 自然科学博物館

問い合わせ
〒737-0029 広島県呉市宝町5番20号
呉市海事歴史科学館(大和ミュージアム)
Tel (0823)25-3017 / Fax (0823)23-7400
ホームページ <http://www.yamato-museum.com/>

開催期間中の土・日に当館館長の講演会等を予定しています。

 大和ミュージアム

Yuzuru Hiraga

平賀譲は、広島藩士から海軍の主計官に転じた平賀百左衛門の末子として明治11(1878)年、東京三田豊岡町に生まれました。

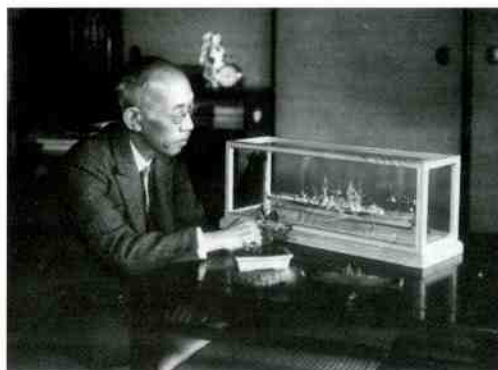
東京大学教養学部の前身である第一高等学校から東京帝国大学造船科を卒業後、海軍に入り、イギリスに留学しました。留学中、最新鋭戦艦「ドレッドノート」を調査した平賀は、大艦巨砲主義の幕開けを強く印象に焼き付けました。

帰国後は、多くの艦艇の設計に関わり、巡洋艦夕張、妙高の設計で、世界的注目を集めました。

また教育者として後進の育成にも努め、昭和13(1938)年には、第13代東京帝国大学総長に初の海軍出身者として就任、戦時期の大学運営に力を入れました。

今年平賀生誕から数えて130年にあたり、大和ミュージアムの協力のもと、東京大学で「平賀譲とその時代—高生から東大総長へ」展を開催しました。

本特別展では、東京大学で展示された資料に当館所蔵資料を加え、軍艦設計の中核をなした平賀譲の足跡と、呉海軍工廠で建造された大和を始めとする建艦技術の発達をたどるものです。



昭和13(1938)年3月に東京帝国大学を定年退職して間もない頃の平賀が、軍艦妙高銀製模型を眺めている様子。この模型は、昭和6(1931)年3月をもって海軍予備役に編入された平賀に記念品として贈られたもので、現在も存在しています。

アクセス図

- 電車 JR呉駅から徒歩5分
- バス 呉市営バス宝町中央循環線「ゆめタウン大和ミュージアム前」下車徒歩1分
- 自家用車 クレアライン呉ICから約5分
- フェリー 呉中央棧橋から徒歩約1分

- 駐車場 第1専用駐車場・65台 / 1時間100円(24時間営業)
- 第2専用駐車場・220台 / 1時間100円(8:00~24:00)



呉市海事歴史科学館

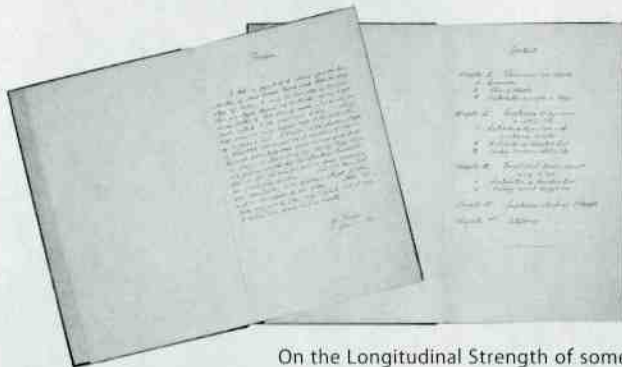
大和ミュージアム

〒737-0029 広島県呉市宝町5-20 TEL0823-25-3017 FAX0823-23-7400
ホームページ <http://www.yamato-museum.com/>

主な展示資料

一高時代

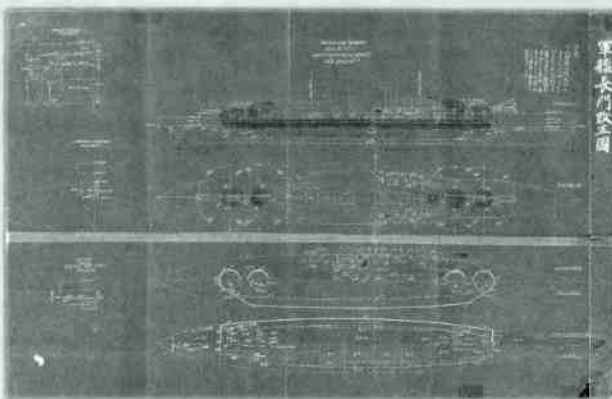
東京大学環境海洋工学専攻図書室に所蔵されている平賀の卒業論文。平賀は英ヤーロー社製・仏ノルマン社製・独シャッピョウ社製の水雷艇をとりあげ、縦強度を論じています。外国製の水雷艇は、現地で建造された後、分解して船載され、日本で組み立てられました。



On the Longitudinal Strength of some Recent Torpedo Boats
明治34(1901)年6月15日提出

海軍時代

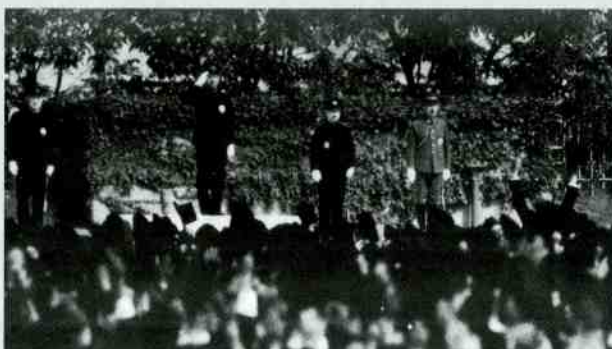
世界最初の16インチ砲搭載戦艦「長門」の計画改正図。「長門」の建造訓令が呉海軍工廠に下った大正5年5月12日の3日後に平賀が海軍艦政本部第四部(船体担当部)に着任しました。5月31日に発生したジユットランド沖海戦の戦訓をふまえて、平賀が計画改正を担当しました。防御力が向上し、オール・ギアード・タービン採用によって当時の世界最高速(26.5ノット)の戦艦となった「長門」は大正6年8月28日に起工、大正8年11月9日に進水、翌年11月25日に竣工しました。



軍艦長門改正図 大正5(1916)年11月8日作成

東大総長時代

平賀の総長在任中に、天皇の行幸が大正7年以来22年振りに行われました。写真は東大の御殿下グラウンドで平賀総長以下の奉迎を受ける昭和天皇。なおこれを最後に、天皇の東大行幸は現在まで行われていません。



昭和天皇の東京帝国大学行幸奉迎の様子 昭和15(1940)年9月10日